



関西大学 会計専門職大学院



2018

[ごあいさつ]



研究科長
三島 徹也

関西大学会計専門職大学院は、世界水準で通用する、理論と実務に習熟した会計専門職業人を養成することを目的としています。これは単に知識としての会計を学習するだけでなく、豊かな会計センス、高度な判断・思考能力、その他会計専門職業人としての職業倫理をも修得し、さらには、財務や法律・税務、経営・経済などの個性ある得意分野を身につけることを意味します。私たちは、これらを身につけた「会計心をもった超会計人」として、監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる 会計専門職業人(MBA in Accountancy)を養成します。

そこで、本会計専門職大学院では、多彩なカリキュラムを用意し、各科目系統に基本から発展、応用・実践へと段階的な学習ができる科目を配置し、さらには、個性を伸ばす個別演習科目である各種ソリューションを置いています。学生が自分の進路や学習スタイルに応じて、明確なキャリア設計のもとで学習することができます。他にも、学生がいつでも学習できるように、24時間体制の自習室や専用の図書資料室を用意しています。

現在、皆さんの先輩が公認会計士をはじめとして各方面で活躍しています。

皆さんも私たちと一緒に関西大学会計専門職大学院で夢のある将来を見つけませんか。

私たち教職員は、皆さんの夢の実現のために最大限の努力をします。

コンテンツ Contents

ごあいさつ・コンテンツ	在学からのメッセージ	9	教員スタッフ	16
設置の理念	サポート体制	10	教育顧問・客員教授	19
カリキュラム	公認会計士試験合格者体験談	12	入試概要	20
会計専門職大学院の10の魅力	修了生からのメッセージ	14	学費・諸費/奨学制度	22
講義紹介	就職支援	15	施設紹介	23

[設置の理念] Policy

アドミッションポリシー

会計専門職大学院では、「世界水準で通用する、理論と実務に習熟した会計人」を養成することを目的としていることから、様々な入試方式を通じて、高度な会計教育を受けることのできる能力・資質・意欲を備えた入学者を広く受け入れます。

- 上記の目的から簿記・会計に関する知識・能力を有する既修者を主たる対象として受け入れるが、簿記・会計の未修者であっても優れた会計センスを有する人材については、積極的に受け入れる。
- 入学試験としては、一般入試(学力重視方式及び素養重視方式)、学内進学入試、指定校推薦入試の他、国際的・社会的に幅広く人材を受け入れるという観点から、留学生入試及び資格取得者・社会人特別入試等を実施する。
- 入試方式に応じて、簿記や原価計算といった基本的な会計に関する筆記試験を課す入試のみならず、小論文試験や書類選考に面接を合わせた総合的に会計専門職教育を受けられることのできる者を総合的に選抜する。

カリキュラムポリシー

会計専門職大学院では、会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理および豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。

- 教育内容**
 - 本研究科においては、高度な会計専門職業人として、①国際水準で通用すべく卓越した理論と実務への習熟、②公益を意図した職業倫理観の醸成を達成するために、会計・監査を中心に据えながら、将来の幅広い進路選択を可能とするキャリア支援を基本方針としてカリキュラム体系を編成している。
 - 横軸に科目群として、本研究科で専門職教育を受けるための前提となる「導入科目群」、会計専門職業人として最低限必要とされる能力を養う「基本科目群」、基本科目で習得した内容をさらに深化し隣接領域に展開する教育を行う「発展科目群」、そして、経済社会において即戦力となる会計専門職業人としての能力を養う「応用・実践科目群」を置く。一方、縦軸に系統として、「財務会計」、「管理会計」、「監査」、「法律・税務」、「経営・経済」の5系統を配置している。
- 個々の学生に応じた学習指導及びキャリア・プランニングを可能とする個別演習指導、研究志向の学生向けの論文作成の指導科目を「横断科目」として設置している。
- 学習成果の評価**
 - 学習成果の評価については、学生の能力及び資質を正確に反映する客観的かつ厳正なものとして、明確な評価基準に従って行われる。
 - 学習成果の評価基準は、筆記試験やレポート試験によるもののほか、プレゼンテーション及びディスカッションを総合評価するなど、各科目の特性に応じて定められており、その評価にあたっては、厳格な相対評価から絶対評価によるものまで、それぞれの科目に応じて基準が定められている。
 - 「考動力」に集約される資質・能力の評価に関しては、関西大学コンピテンシー調査の集計等によって行う。
 - 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。

ディプロマポリシー

会計専門職大学院では、国際水準で通用し、かつ理論と実務に習熟した会計専門職業人に対して会計修士(専門職)の学位を授与します。

- 知識・技能**
会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観および豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得し、それらを総合的に活用することができる。
- 思考力・判断力・表現力等の能力**
健全な精神を持ち合わせた監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人として行動力をもって社会の要請にこたえることができる。
- 主体的な態度**
国際化およびIT分野にも精通し、かつ、財務、法律・税務や経営に強い会計専門職業人として活動することができる。

カリキュラム

会計心(Accounting Mind)をもった超会計人の養成

本会計専門職大学院では、以下のようなカリキュラム体系を用意しています。

横軸に科目群として、導入科目群・基本科目群(会計専門職のための基礎的教育)、発展科目群(会計専門職としての発展的教育)、応用・実践科目群(会計専門職としての実務適応教育)。

縦軸に系統として、「財務会計」、「管理会計」、「監査」、「法律・税務」、「経営・経済」。

さらに、先端的・学際的な特徴ある科目として、特殊講義(Specific Lecture)、学生の幅広い個々のニーズに応えるための個別演習科目(学習・進路指導)、修士論文科目およびインターンシップ科目を用意しています。

<2018年度入学生適用カリキュラム>

系統	導入科目群	基本科目群	発展科目群	発展科目群 特殊講義 (Specific Lecture)	応用・実践科目群	応用・実践科目群 (横断科目)
財務会計系	中級商業簿記	上級簿記論 上級財務会計論	会計基準論 会計制度論 財表作成簿記論 英文会計論 IFRS 会計論 組織再編会計論	公会計論 公監査論	基本会計プログラム演習 会計事例研究 会社経理実務 実践会計プログラム演習 IFRS 事例研究 ディスクロージャー実務	
管理会計系	中級工業簿記	上級原価計算論 上級管理会計論	戦略管理会計論 企業分析論 コストマネジメント論 企業価値マネジメント論 マネジメント・コントロール・システム論	保証業務論 不正摘発監査論 資本市場論 会計検査制度論	管理会計事例研究 国際管理会計事例研究	
監査系		監査制度論 監査基準論 会計専門職業倫理	監査実施論 監査報告論 内部監査論 国際監査基準論	コンサルティング実務 企業経営を取り巻く会計の課題と方向 証券アナリスト協会寄附講座・証券アナリストの基礎	監査事例研究 基本監査プログラム演習 実践監査プログラム演習	アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション 論文指導(導入) 論文指導(基礎) 論文指導(実践) 修士論文 監査法人インターンシップ* 企業インターンシップ*
法律・税務系		企業法	商取引法 会社法 民法 上級会社法 法人税法 上級財務会計論 租税法理論 租税法会計論 国際税務論	税金と会計* 労務と会計* 企業情報の読み方と使い方* 日本内部監査協会寄附講座・実践内部統制* あらた監査法人寄附講座・地域の発展と民間のイノベーション*	企業法判例演習 税務事例研究	
経営・経済系			経営学理論 経営戦略・組織論 コーポレート・ファイナンス論 インベストメント論 統計学 ミクロ経済学 マクロ経済学	など多数(予定) ※ 梅田キャンパス開講科目	企業実践コミュニケーション	

・修了に必要な単位数

以下の科目を含めて48単位以上を修得しなければなりません。ただし、中級商業簿記及び中級工業簿記を修了所要単位に算入することはできません。

- 基本科目群:16単位
- 発展科目群:16単位
- 応用・実践科目群:12単位

・履修制限単位

1年間32単位
(ただし、導入科目群科目及び監査法人インターンシップ、企業インターンシップは含まれません。)

・単位数

「論文指導(実践)」および「修士論文」は各4単位、その他の科目は2単位

トピックス

会計専門職大学院の

10の魅力

～キャリア設計に適した～

1 豊富な授業科目

皆さんの進路・ニーズに応じて会計を中心に、基本→発展→応用と自分のレベルに応じた学習が可能です。また、講義形式の授業のみならず、実践・演習といった授業も多様に展開しています。さらに、これからの時代に即した国際化・ITにも対応し、ニーズの高い最先端の科目を特殊講義として多数用意しています。

▶P.3参照

～24時間自習室利用～

2 最適な学習環境

院生全員分の個人ロッカーとチャレルが設備された快適な環境で、学習することができます。また24時間利用が可能のため、早朝から夜遅くまで、自分の生活スタイルに合わせた学習が可能です。

▶P.11・23参照



3 会計専門職大学院独自のインターンシップ制度

監査法人および企業等、皆さんの進路に合わせたインターンシップを展開しており、また、インターンシップは授業の一つとして単位認定されます。これらのインターンシップはいずれも会計専門職大学院独自のプログラムです。

▶P.6～7参照

～理解できるまで何度でも～

4 主要講義の動画配信

皆さんにとって重要な講義科目は、復習するため、そしてしっかりと理解するため、授業終了後に動画を配信しています。この動画は何度でも繰り返し視聴することができます。

▶P.10参照



～公認会計士試験～

5 各種試験に対応

本会計専門職大学院は、公認会計士試験合格者を多数輩出しており、公認会計士試験はもちろん、公認内部監査人(CIA)、U.S. CPA、国税専門官、財務専門官、ファイナンシャル・プランナー(FP)、プライベートバンカー(PB)、その他簿記や会計に関する検定試験等各種試験にも広く対応しています。

▶P.11参照

6 充実の奨学制度

学費は将来の自分への投資です。本会計専門職大学院はできる限りこれを支援しています。高度な資格取得者や成績優秀者に対する給付奨学金から貸与奨学金に至るまで、豊富な奨学制度を用意しています。

▶P.22参照

～これから学ぶ方にも～

8 導入科目群科目と課外講座

会計をこれから学ぶ方には、その導入から丁寧な教育を行います。また、導入教育をサポートするため、課外講座を設け、着実に理解できるよう配慮しています。

▶P.3・11参照

～社会人の方にも～

9 梅田キャンパスでの授業開講

2016年10月に竣工した梅田キャンパスでも授業を開講しています。梅田キャンパスでの授業は夜間開講となっており、昼間は千里山キャンパスで受講をし、夜間は梅田キャンパスでの受講もできます。また、社会人の方で仕事後に梅田キャンパスで受講することも可能です。本授業は社会人と会計専門職大学院生の共同授業となっています。

▶P.3・23参照



10 長期履修学生制度

本来であれば2年で修了することとなりますが、その期間を3年ないし4年に延長することができます。その特徴は次のとおりです。①じっくりと時間をかけて勉強できる。②社会人の方にとっては年間の履修科目を少なくすることで働きながら学習できる。③学費は2年修了とほぼ変わらないため、年間あたりの学費を少なくできる。

▶P.21参照

講義紹介

関大ASで公認会計士を目指す

高度な資格に基づく会計専門職業人を目指す学生のために、資格取得に必須となる理論的知識、そして資格取得後に有効な実務的な能力の修得をサポートします。

ピックアップ講義

上級簿記論



加藤 久明 教授
研究者教員

上級簿記論では、個別財務諸表の作成に関する会計処理を中心に学習します。例えば、税効果会計、金融商品会計、外貨換算会計、リース会計、退職給付会計など、個別企業の会計処理を取り扱います。連結財務諸表の作成等については、財表作成簿記論という講義がありますので、そちらで学習します。

この講義で大切にしていることは、計算問題として解くのではなく、しっかりと仕訳することです。なぜなら、「簿記」というのは、帳簿に記録することを意味するからです。企業は日々の取引を帳簿に記録しておくことで、財産の変動や経営の状況を管理しています。その記録を集計して財務諸表が作成・開示され、企業を取り巻く人々の行動に影響を与えます。

簿記といえば、会計系の国家試験や検定試験をイメージする人が多いと思いますが、簿記は実学です。単なる計算問題ではありません。会計のプロになるという皆さんの目標に向かって、会計心を養うつもりで勉強してください。

●ピックアップ講義を含む履修例

(2018年度入学生適用カリキュラム)

	基本科目群	発展科目群	応用・実践科目群	横断・個別演習・修士論文・インターンシップ
財務会計系	上級簿記論 上級財務会計論	会計基準論 会計制度論	会計事例研究 ディスクロージャー実務	監査法人インターンシップ アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション
管理会計系	上級原価計算論 上級管理会計論	戦略管理会計論 企業価値マネジメント論 企業分析論	管理会計事例研究 国際管理会計事例研究	
監査系	監査制度論 会計専門職業倫理 監査基準論	監査実施論 監査報告論	監査事例研究 基本監査プログラム演習 実践監査プログラム演習	
法律・税務系	企業法	会社法 上級税務会計論 法人税法 租税法会計論	税務事例研究	
経営・経済系		経営学理論 マクロ経済学		

監査法人インターンシップ

会計大学院協会の主催により、将来、監査法人に勤めたいと思う学生を対象に、監査法人でのインターンシップを実施しています。毎年2月下旬に東京や大阪の監査法人に赴き、2～5日間の日程で模擬監査や工場見学を体験します。参加者については、成績等を勘案して学内で選考を行い、その後、会計大学院協会に推薦し、改めて会計大学院協会に選考され決定します。受入法人は、有限責任あずさ監査法人、新日本有限責任監査法人、有限責任監査法人トーマツ、PwCあらた有限責任監査法人です(2009～2016年度実績)。

+a 監査法人インターンシップ体験談

【インターンシップ先】有限責任監査法人トーマツ
【実習期間】2017年3月8日～9日(2日間)



清水 このみ
1年次生

私は、自分の目指す公認会計士が実際の現場でどのように監査業務を行っているのか、また、今の自分の知識が実務でどのように生かされているのか学びたい思いがあり、参加させていただきました。

インターンシップの主な業務内容としては、二日間を通して模擬監査を行いました。チームに被監査会社の設定や財務諸表が与えられ、最終的に被監査会社の社長に会計処理の問題点を指摘・報告するというものでしたが、その中でグループワークの注意点、被監査会社へのヒアリングによる情報収集、社長への報告時の円滑な進め方等を教えていただきました。また、実務においては批判機能だけでなく指導機能発揮の重要性、幅広い知識の習得やコミュニケーション能力が大事であると実感しました。

インターンシップに参加しなければ気が付かなかった事が多くあり、改めて参加させていただいて良かったと思います。ぜひ皆さんも監査法人のインターンシップに参加し、新たな気づきを発見してみてください。

※プロフィールの学年は取材時のものを掲載しています。

関大ASで企業人や公務員等を目指す

企業や公的組織の経営管理を行うために必要な会計の理論と技術を習得します。企業の経理担当者や公務員を目指す学生のために様々なサポートを行います。

ピックアップ講義

会社経理実務



吉良 勝明
特別任用教授
実務家教員:公認会計士

“経理、という言葉聞いて、皆さんが頭に思い描くイメージは何でしょう。難しそう、数字に細かい、カタい、真面目、黒い腕抜きを着けてそう…どちらかと言えば、会社の中で地味な存在としてイメージされる方が多いのではないのでしょうか。確かに、そのイメージに通じる部分もあることは否定できませんが、経理の実務は皆さんがイメージするよりも遥かに多岐に亘り、奥が深いものです。また、経理というと数字が大好きな人たちが集まる部署、というイメージをお持ちの方もいらっしゃるかも知れませんが、必ずしもそうではありません。私自身、経理実務に携わって20年近くになりますが、数字が特別好きというわけではありませんし、算数や数学はどちらかと言えば苦手な方でした。こんな風に紹介されると、何となく経理に対する興味が湧いてきませんか。結局のところ経理って何をやっているんだろう、経理は会社の中でどういう位置づけにあるんだろう、経理にも華々しい一面ってあるんだろうか、そんな疑問に対する答えと一緒に探に行きませんか。

●ピックアップ講義を含む履修例

(2018年度入学生適用カリキュラム)

	基本科目群	発展科目群	応用・実践科目群	横断・個別演習・修士論文・インターンシップ
財務会計系	上級簿記論 上級財務会計論	会計基準論 IFRS会計論 財表作成簿記論 英文会計論	会計事例研究 基本会計プログラム演習 会社経理実務 実践会計プログラム演習 IFRS事例研究	企業インターンシップ アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション
管理会計系	上級原価計算論 上級管理会計論	戦略管理会計論 マネジメント・コントロール・システム論 コストマネジメント論	管理会計事例研究 国際管理会計事例研究	
監査系	監査制度論 会計専門職業倫理 監査基準論	内部監査論		
法律・税務系	企業法	上級税務会計論 法人税法 会社法		
経営・経済系		経営学理論 インvestment論 経営戦略・組織論	企業実践コミュニケーション	

企業インターンシップ

企業会計に関心のある学生を対象に「経理職に特化した」企業インターンシップを実施しています。一般的なインターンシップ制度とは異なり、経理職限定のインターンシップは他に例がなく、本会計専門職大学院独自の科目です。参加者は、8月～9月に企業の経理部門にて、1～2週間の日程で、経理業務や生産ライン等の研修を受けることになります。参加者については、成績等を勘案して学内で選考し、決定します。

+a 企業インターンシップ体験談

【インターンシップ先】あすか税理士法人
【実習期間】2016年8月22日～26日(5日間)



西浦 美沙緒
1年次生

私は税理士志望のため税理士の実務や働く環境を知り、今後の課題や身につけるべきスキルを学ぶため、あすか税理士法人でのインターンシップに参加しました。

インターンシップ生として名刺を作成していただき、名刺交換等のマナーから始まり、伝票データを元にした会計ソフトへの記帳業務や、入力したデータから税務署に提出する法人税等の申告書の作成まで行いました。また、海外子会社の監査報告書を翻訳し数字をデータベースに入力する作業や、クライアント訪問の同行では企業の経理担当者の方や社長とお話しする機会も頂きました。経営に関する話を聞き、税理士とクライアントの関わりを実際に見ることができたことは、貴重な体験となりました。5日間を通して税理士業務の大きな流れを体験する中で、資格だけでなくコミュニケーション能力やクライアントの要望に的確に応える幅広い知識や語学力が重要であることが解り、今後の学びにつながる貴重な機会を得ることができました。

※プロフィールの学年は取材時のものを掲載しています。

講義紹介

関大ASで修士論文を書く

会計専門職としての知識を深めながらも、修士論文の執筆に関心のある学生のために論文の執筆指導を通じて、論理的思考力の養成を支援します。

ピックアップ講義 論文指導(導入)



柴 健次 教授
研究者教員

論文を書くためには努力と時間が必要ですが、論文を完成させるという経験を積むことで、論理的思考力や文章作成能力が大きく上がります。そのため、修士論文の執筆は、専門職としての実力を養ううえで、非常に得難い経験になるでしょう。

論文を書き上げるためには、問題を立てて、調査を行い、その結果に対する分析をもとに、論理を展開させて結論に辿り着くという手順に沿って、執筆を進めていく必要があります。ところが、これらの内容を一度に達成することは、なかなかできません。

そのため、論文指導(導入)では、まず問題の立て方や、先行文献の収集方法など、修士論文を執筆するための足掛かりを作ることが目的になります。

●ピックアップ講義を含む履修例

(2018年度入学生適用カリキュラム)

	基本科目群	発展科目群	応用・実践科目群	横断・個別演習・修士論文・インターンシップ
財務会計系	上級簿記論 上級財務会計論	会計基準論 会計制度論	会計事例研究 IFRS事例研究	論文指導(導入) 論文指導(基礎) 論文指導(実践) 修士論文
管理会計系	上級原価計算論 上級管理会計論	戦略管理会計論 マネジメント・コントロール・システム論 企業分析論	管理会計事例研究 国際管理会計事例研究	
監査系	監査制度論 会計専門職業倫理 監査基準論	監査実施論 内部監査論 監査報告論	監査事例研究	
法律・税務系	企業法	会社法 上級税務会計論 法人税法 租税法理論	企業法判例演習 税務事例研究	
経営・経済系		経営学理論 統計学 ミクロ経済学		

研究科長賞 受賞者の声



▲写真は会計研究科長賞受賞の様子
(2017年3月21日)

浦元 天裕さん 2016年3月修了(浦元天裕税理士事務所)

関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に進学して本当に良かったです。

そう思う理由は、本学ASには以下の2つが揃っているからです。

まず設備です。本学ASの自習室は24時間利用でき、持ち運びの大変な勉強道具等が保管できます。また図書館は関西有数の蔵書数を誇るため、研究用の書籍を他の図書館から取り寄せる必要が少なくすみます。

次に人です。本学ASの先生方は個性豊かで面倒見が良く、講義外においても相談や質問に応じてくださります。そして熱意を持って公認会計士・税理士試験等の勉強に取り組んでいる同窓生からは良い刺激を受けました。

私が在学中に税理士試験の税法1科目の合格及び修士論文の執筆を同時に達成できたのは上記のお陰だと思います。また本論文を国税審議会に提出し、税理士試験の税法2科目の免除を受けることもできました。

在学中の2年間は間違いなく有意義でした。やる気を持ちながら進学を迷われている方には本学ASを強くお勧めいたします。

在学生からのメッセージ

関大ASで公認会計士を目指す



中西 光司 1年次生

私は関西大学総合情報学部出身ですが、偶然会計に興味を持ち、深く会計について学びたいという思いから関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に進学しました。

入学後しばらくして公認会計士を目指すことを決心しましたが、会計については初学者同然だったため、最初は本学ASで過ごしていけるのか心配でした。

しかし、わかりやすく教えてくださる本学ASの授業や、スキルアップ講座、集中できる環境の専用自習室での勉強をこなしていくうちに、短期間でみるみる実力がつき、8カ月後の12月に公認会計士試験短答式試験に合格することができました。

本学ASは、会計を本質的に理解することができるので、公認会計士試験に役立つのは勿論、公認会計士になった後も大いに活用できると思います。とことん時間をかけて会計を学び、本質を理解して如実に成長できるのは、本学ASならではの経験であり、また、強みでもあると思います。

本学ASでその経験を味わってみてはいかがでしょうか。

※プロフィールの学年は取材時のものを掲載しています。

関大ASで企業人や公務員等を目指す



稗島 麟太郎 1年次生

私は大学時代法学部に在籍していましたが、在学中に知った会計専門職という進路に興味を持ち、会計専門職大学院に進学しました。

関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)を進学先に選んだ理由としては、各分野の著名な先生方がいらっしゃる点と、会計に関する分野に関して広く自由に学ぶことが出来るカリキュラムが設けられている点です。

実際に入学してみると、図書館や自習室、パソコンルームといった勉強を支援する設備が完備されており、先生方や先輩方も親身になって相談に乗ってくださるため、学習を進めるうえで最適な環境であると実感しました。

また本学ASでは、会計に付随する周辺分野についても学習することができ、法学部時代の知識が役に立つ場面もありました。

皆さんの入学をお待ちしています。

※プロフィールの学年は取材時のものを掲載しています。

関大ASで修士論文を書く



小原 一紗 1年次生

私は、会計専門職業人としてコアとなる専門知識やスキルを修得し、判断・思考能力を高めたいと考えたため、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)へ進学しました。

本学ASでは、会計から法律・経営・ファイナンスに至るまで様々な講義を受講することが可能なため、自分のキャリア設計に即した学びができます。私は、週1回の修士論文指導を受講し、自ら修士論文のテーマを設定し、1年半をかけて研究を行っています。具体的には、授業の中で研究の進捗を発表し合い、その都度、先生からきめ細かな指導をいただき、執筆を進めています。

本学ASは、先生方との距離が近いため、いつでも質問や相談に応じていただける環境があるのも魅力の1つと感じています。加えて、設備も充実しているため、初めて論文作成に取り組まれる方でも安心して研究に臨むことができます。

皆さんも、ぜひ本学ASで研究に邁進してみたいはいかがでしょうか。

※プロフィールの学年は取材時のものを掲載しています。

サポート体制

入学前から修了後まで充実の学習支援!

入学前教育プログラム

新学期からの学習に備えて、入学予定の皆さんが各自で入学前に一定の水準まで学習を進めることで、入学後の講義内容をスムーズに理解できることを目的とし、入学前教育プログラムを実施しています。



入学前

動画配信

基本科目等の主要科目については、パソコンからその授業の動画を閲覧することができます。復習や確実な理解のために大変有益です。無料で、かつ何度でも閲覧することができます。



在学中

院生自習室

本会計専門職大学院専用の自習室は、第2学舎2号館に設置しています。開放的で利用しやすい自習室を「24時間利用可能」です。同建物内1階にコンビニと食堂もあります。

また、自習室内には個人ロッカーも設置しており、非常に快適な環境で自習することが可能です。



図書資料室・図書閲覧室

本会計専門職大学院生専用の会計、ファイナンスを中心とするコアジャーナルおよび最新の図書資料を配架しています。また、図書閲覧室に設置されたパソコンを利用して、各種データベースを検索することができます。



修了後

各種試験

本会計専門職大学院の多種多様な開講科目は、各種試験(公認会計士、公認内部監査人試験、その他簿記や会計に関する検定試験等)に対応しています。また、修了時に一定の単位修得条件を満たせば、公認会計士試験短答式科目免除(財務会計論、管理会計論および監査論)を申請することができます。なお、日本証券アナリスト協会とプライマリープライベートバンカー資格試験において提携しています。公認会計士試験合格後の、実務補習単位の減免対象科目も設置しています。



課外講座

皆さんの学習をサポートするために、日商簿記検定1級試験の受験を支援することを目的とした

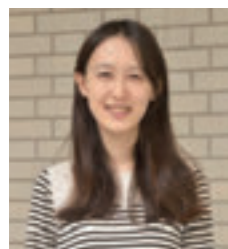
「**スキルアップ講座**」、および在学生・修了生を対象に公認会計士試験受験を支援することを目的とした

「**CPA資格取得支援プログラム**」という2つの課外講座を設けています。

担当講師の声

当プログラムは公認会計士試験に必要なすべての項目が無理なく組み込まれており、受験指導経験の豊富な講師が個別指導に近い形で皆さんを指導します。この機会にぜひ受講してください。

スキルアップ講座 受講者のメッセージ



池井 優佳
2016年3月修了

私は、会計専門職大学院で学ぶからには、日商簿記検定の1級を取得したいと思い、スキルアップ講座を受講しました。この講座は、大学院の授業後と同じ教室で受講することができるため、講座が始まるまで自習室で勉強することができる点と受講料が無料という点で魅力的でした。また、4つの試験科目の中から希望する科目だけを受講することもできるため、効果的かつ効率的に1級の取得に向けた勉強を進めることができました。各科目の先生方は、難しい用語や計算問題をわかりやすい言葉や図表を使い、また、印象に残るような面白いお話も交えて説明してくださいました。試験直前には、押さえるべきポイントを教えてください、個別の質問にも答えていただき、自信をもって試験に臨むことができました。スキルアップ講座を受講したことにより、無事に1級を取得できただけでなく、学習した内容は、大学院の授業でも生かすことができました。

CPA資格取得支援プログラム 修了者のメッセージ



神阪 智彦
2015年3月修了

私は、2015年8月の公認会計士試験論文式試験を受験した後、2015年12月~2016年8月にかけてCPA資格取得支援プログラム(以下、CPAプログラム)を利用しました。私がCPAプログラムの受講を決めたきっかけは、受験指導経験の豊富な講師の授業を個別指導に近い形で受講することができる点にあります。私は、このプログラムを受講するまで、受験予備校の通信講座を利用していたので、生の授業を少人数で受けることができ、いつでも質問を行うことができる環境が整っているCPAプログラムはとても魅力的に感じました。私の場合、ほぼ個別指導での授業でしたので、授業も自分の苦手な分野を重点的に指導してもらったり、問題演習もその場で添削してもらったりと、大変きめ細かい指導を受けることができました。また、CPAプログラムでは、講師の方々との距離が非常に近く、勉強の内容だけでなく、勉強方法等についても相談に乗ってもらえることができ、その点がとても良かったと感じています。CPAプログラムは、間違いなく、私が公認会計士試験に合格する為の大きな一助になったと感じております。この場をお借りして、CPAプログラムの関係者の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

公認会計士試験合格者体験談

CASE

1

有限責任あずさ監査法人 勤務



目標を持って努力すれば結果は後からついてくる

久保田 尚良さん Kubota Naoyoshi (2年次生)

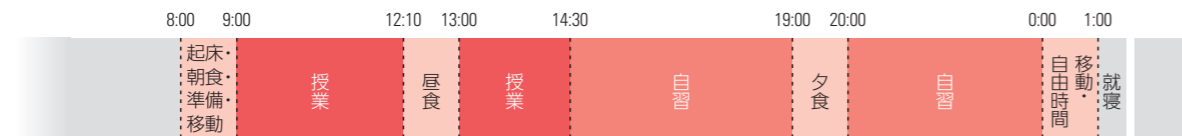
私は関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)で学ぶことにより幅広い知識を得られたと感じています。本学ASには、様々な分野に特化した先生方がおられるため、今までの実務経験を踏まえたうえで貴重な話を講義等でしてくださいました。

その様な話を聞き、私自身も会計の専門家として社会に出て活躍したいと強く感じる様になりました。

私が公認会計士試験の勉強をするにあたって一番意識していたのはスケジュール管理です。まずは中長期の目標を立て、その目標を達成するために1日単位でスケジュールを立て、実行してきました。日々、目標に向かって勉強するうえで大学院の自習室は非常に重宝しました。広い机や個人ロッカーがあり、また、同じ目標を持って勉強している仲間がたくさんいるため、集中力が増し、より効果的な勉強ができたと感じています。

今、公認会計士試験の受験勉強をしている人たちは勉強の毎日で大変だと思います。しかし、努力すれば結果は後からついてくると思うので頑張ってください。

主な1日のスケジュール



※プロフィールの学年は取材時のものを掲載しています。

CASE

3

有限責任監査法人トーマツ東京事務所 勤務

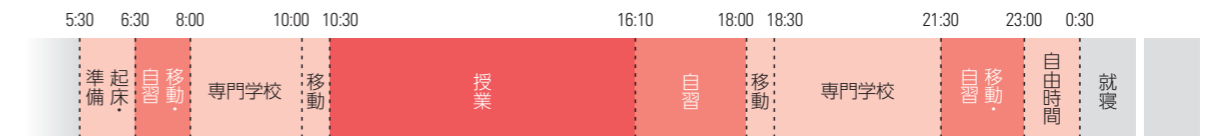


机の上で行うことだけが勉強ではない

林 要輔さん Hayashi Yosuke (2年次生)

2015年に亜細亜大学から入学した林要輔です。現在、有限責任監査法人トーマツ東京事務所です。大学生のときは一般企業や税理士に興味を持って勉強していたため、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)の入学と同時に公認会計士を目指すことに決めました。入学当初は会計以外の知識が全く無く苦労しましたが、本学ASの授業のお陰で比較的早く吸収できたと思います。実家から通っていたこともあり自習室で勉強できる時間は限られていたのですが、計算がもともと得意であったため通学時間を利用して、一度読みで理解できるほどゆっくり読み込むようにしたことが、合格に直結したと感じています。会計士試験を通じて感じたことは、机の上で行うことだけが勉強ではない、試験本番では気負い過ぎないことが大事ということです。これから勉強を開始する人、すでに勉強をしている人はこれから大変だと思いますが、ときには息抜きしてあまり気張らずに試験に臨めたら、結果は必ずついてくると思います。私もこれからも一生勉強の身ですので、共に頑張りましょう。

主な1日のスケジュール



※プロフィールの学年は取材時のものを掲載しています。

CASE

2

有限責任監査法人トーマツ 勤務(※在学中のため準職員として)



飛び級制度の活用で早期から専門性の高い学びに専念

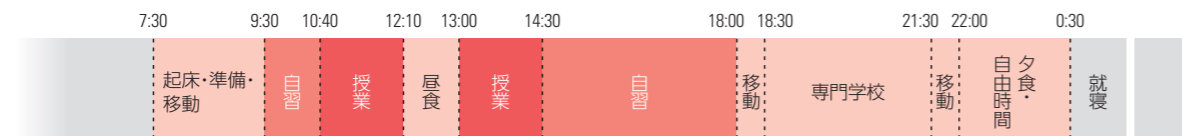
松本 奈々さん Matsumoto Nana (1年次生)

関西大学商学部から飛び級で2016年に関西大学会計専門職大学院に入学しました。現在は、有限責任監査法人トーマツに内定をいただき、在学しながら準職員として働いています。私はこの飛び級制度を活用することで、専門性のある勉強に専念することができ公認会計士試験に合格出来ました。

試験勉強が一番大事だと感じたことは睡眠時間の確保です。試験勉強を始めた頃は勉強時間の確保を重視し8時前から勉強をしていましたが、睡眠不足から集中力が欠け、多くの無駄な時間を過ごしました。それ故、9時半頃から勉強を始め、我慢せず仮眠も取ることにしました。勉強時間の確保よりも集中力の確保が大事だと考えています。

暗記する能力に長けている人や理解能力が高い人が必ず周りにいると思います。しかし、どんな能力より大切なのは、心が折れそうな時もまた頑張ろうと思える気持ちです。努力が点数に反映される日は必ず来ます。皆さまの合格を心からお祈りしております。

主な1日のスケジュール



※プロフィールの学年は取材時のものを掲載しています。

公認会計士試験合格者状況

過去3年間実績

合格年度	合格者数	主な就職先
2014年度	13名(4名)	新日本有限責任監査法人、有限責任あずさ監査法人、有限責任監査法人トーマツ、PwCあらた有限責任監査法人、優成監査法人、他
2015年度	9名(4名)	
2016年度	12名(7名)	

※()内は内数で、在学生合格者数を示す。



▲公認会計士試験合格祝賀会の様子(2016年12月17日)



公認会計士関大会
会長 酒井 清

公認会計士関大会からのメッセージ

公認会計士関大会は、関西大学の卒業(修了)生を中心に公認会計士試験に合格された方々およそ400名の会員で構成される組織です。当会は、会員相互の連携や懇親のほか、関西大学のさらなる発展にも貢献したいの思いをもって運営しています。

現在、公認会計士という職業専門家に寄せられる経済社会の期待は大変大きくも厳しいものがあり、クライアントのニーズに合わせるだけでなく、その期待を大きく超える高度な専門的サービスを提供することが求められています。こうした高度で実践的な専門的能力を養ってくれるのが関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)だと思います。

我々公認会計士にとって、関西大学との連携を考える中で、もっとも身近な存在の一つである本学ASの修了生の進路や仕事の悩みについても、積極的に相談にのっていきたくと考えています。ぜひ、本学ASで厳しく鍛えられて、社会に貢献されることを期待しています。

修了生からのメッセージ

公認会計士・監査法人以外でも、多様な分野で「超会計人」のOB・OGが活躍しています。

CASE 1

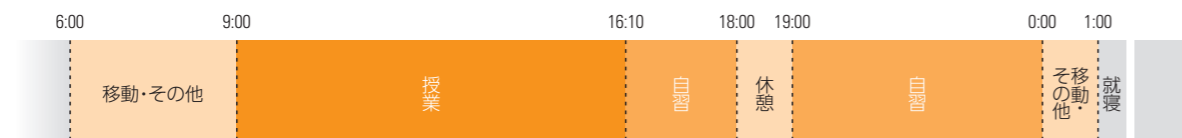
新田会計事務所 勤務 (所属税理士)



船橋 充さん Funabashi Mitsuru (2016年3月修了)

私が関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)を進学先と決めた理由は主に2つあります。1つ目は、先生方の手厚い指導を受けることができると感じたことです。説明会や入学前のオリエンテーションにおいて、先生方がとても熱心に話をされておりました。入学すると先生方は熱心にそして親身に、私たちの疑問を「私たち自身で」解決できるよう、趣旨や背景を大切に指導していただきました。2つ目は、公認会計士等の難関資格の取得を目指す仲間から、強い刺激を受けることができると感じたことです。本学ASには様々な目標を持った学生が集まります。その仲間と共に勉学に励んだり、話を聞いてもらったりしたことは私の強い支えとなりました。また、事務職員の方々からのサポートもとても充実しています。形式的なことだけでなく、一緒に話をしてくださったり、相談を聞いてくださったりと、とてもお世話になりました。物理的な環境だけでなく、先生方や周りの仲間、事務職員の方々からのサポート、素敵な場所で素敵な2年間を過ごすことができたことと実感しています。そんな素敵な2年間を、皆さんも是非体感してください。

在学時の主な1日のスケジュール



CASE 2

日本発条株式会社 勤務



唐 富娟さん Tou Fuken (2年次生)

私は中国出身の留学生です。将来会社の経営管理を携わる仕事に就きたいと考え、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)への進学を決めました。在学中には、会計専門職業人として身につけなければならない財務会計、管理会計、監査の講義はもちろんのこと、会社経営に関する講義等、多様な講義を受講しました。この経験によって、将来自分が会計経営を目指すための具体的なイメージを持つことができようになり、大手メーカーで勤務されていた実務家教員の講義を通じ、会社経営における実務と理論の違いを知ることもできました。さらに、一般企業財務部でのインターンシップを経験し、在学中に経理・財務の仕事を経験することもできました。実用的な専門知識を学びたいという方、将来は経理・財務を超えて独立起業したいという方、経営管理の仕事に就きたいという目標を持つ方は、ぜひ本学ASで学んでください。

在学時の主な1日のスケジュール



就職支援

専門分野での就職を目指す人へ

本学OB・OGを含む現役の業界人の方々をお招きし、監査法人や税理士法人・コンサルティング業界説明会等を開催しています。いずれも、多岐にわたる業務の内容や採用情報について、現場で活躍されている方々の生の声を聞くことができる絶好のチャンスです。事前申し込みは不要の説明会ですので、専門スキルを活かして働きたいと考えている皆さんは自由に参加できます。



▲2016年4月に開催された就職・進路ガイダンスの様子
本学キャリアセンターおよびオムロンパーソナル株式会社(人材派遣・紹介サービス会社)の連携・協力を得て、就職・進路ガイダンスを実施しました。ガイダンスでは、キャリアコンサルタントの岩波先生の講演のほか、ペアワークなども行いました。

一般企業での就職を目指す人へ

本学キャリアセンターとの連携・協力のもと、在学生を対象として就職活動ガイダンスを開催しています。1年次生には就職活動の進め方を、すでに就職活動をしている2年次生には就職活動の動向や具体的な実践方法をそれぞれ指導する説明会となっています。そのほか、一般企業からの求人情報を学生に提供したり、企業の採用担当者向けに本学会計専門職大学院についての広報活動を行ったりする等の支援も実施しています。

◆多数の就職支援行事、四大監査法人をはじめとした「業界研究セミナー」や「コミュニケーション講座」等、実践に役立つたくさんの行事を実施しています。今後も各種イベントを開催予定です。

就職状況

本学会計専門職大学院では、在学生・修了生の就職支援を目的として、就職支援委員会を設置し、会計専門職大学院=公認会計士=監査法人というキャリアパスだけでなく一般企業を含めて、多様なキャリアパスへの支援を進めています。

過去5年間の修了生の主な就職先

主な就職先		
● 株式会社産業経済新聞社	● キューピー株式会社	● 総合警備保障株式会社
● 株式会社カネカ	● 国税専門官(大阪国税局管轄)	● 東京国税局
● 株式会社肥後銀行	● 財務省近畿財務局	● 東洋ゴム工業株式会社
● 株式会社北越銀行	● 昭和シェル石油株式会社	● 日鐵住金建材株式会社
● 株式会社三越伊勢丹	● 住友精化株式会社	● 扶桑薬品工業株式会社 他

※プロフィールの学年は取材時のものを掲載しています。

教員スタッフ

教員スタッフ

教員スタッフ

大西 靖 教授

Onishi Yasushi



担当科目
中級工業簿記、上級管理会計論、ソリューション・イン・プロフェッショナル、論文指導・修士論文(基礎)、論文指導・修士論文(実践)、修士論文

プロフィール
・神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了
・「マテリアルフローコスト会計の拡張可能性に関する研究」により博士(経営学)神戸大学の学位取得
・著書は「環境経営イノベーションの理論と実践」(中央経済社)(共著)。発表論文は「Implementing Material Flow Cost Accounting in a Pharmaceutical Company」(共著)、「マテリアルフロー指向のコストマネジメント:アメリカにおける環境管理会計の展開」ほか多数

加藤 久明 教授

Kato Hisaaki



担当科目
中級商業簿記、上級簿記、財表作成簿記、ソリューション・イン・エキスパート、論文指導・修士論文(基礎)、資産会計論、論文指導・修士論文(実践)、修士論文

プロフィール
・立命館大学大学院経営学研究科企業経営専攻博士課程修了
・「会計基準の在り方と設定の方向性に関する理論研究—アメリカにおけるリース会計基準の設定と論争の歴史的展開を踏まえて—」により博士(経営学)立命館大学の学位取得
・主な著書として、「現代リース会計論」(中央経済社)、「リース会計基準の論理」(税務経理協会)(共著)、発表論文として、「リース会計基準の改定動向に関する分析と検討」、「IASBとFASBの新しいリース会計基準に関する比較考察」ほか多数

柴 健次 教授

Shiba Kenji



担当科目
会計制度論、公会計論、ソリューション・イン・エキスパート、論文指導・修士論文(基礎)、負債・資本会計論、論文指導・修士論文(実践)、修士論文

プロフィール
・神戸商科大学大学院経営学研究科博士後期課程中退
・「市場化の会計学」により博士(商学)関西大学の学位取得
・日本会計教育学会会長、日本ディスクロージャー研究会名誉会長、公会計改革ネットワーク会長、元税理士試験委員・公認会計士試験委員等
・91年「金融資産の証券化と資産の認識」により日本会計研究学会賞を受賞
・主な著書として「テキスト金融情報会計」、「市場化の会計学」(以上、中央経済社)、「外貨換算会計論」(大阪府立大学)、「自己株式とストック・オプションの会計」(新世社)

清水 涼子 教授

Shimizu Ryoko



担当科目
会計専門職業倫理、公監査論、ソリューション・イン・プロフェッショナル

プロフィール
・東京大学法学部卒業
・公認会計士、日本証券アナリスト協会検定委員
・みずほ監査法人において約18年間勤務。途中、監査部門から公共セクター部に移籍。公共セクター部では、公的機関への監査及びコンサルティング、海外の公会計先進国の実務の調査研究業務等に従事
・国際会計士連盟公認会計士委員会日本代表委員等(04年1月~06年12月)、財務省、総務省等政府関係審議会委員、大阪府、兵庫県等地方公共団体関係審議会委員を務める
・主な著書として、「公会計の基礎知識—各国基準と国際会計基準—」、「市町村のバランスシートがわかる本」(共著)、「地方公共団体の外部監査実務Q&A」(共著)ほか多数

富田 知嗣 教授

Tomita Satoshi



担当科目
上級財務会計論、会計基準論、国際会計基準論、基本会計プログラム演習、ソリューション・イン・アカデミック、論文指導・修士論文(基礎)、会計戦略論、論文指導・修士論文(実践)、修士論文

プロフィール
・名古屋大学大学院経済学研究科経済政策専攻博士課程後期課程単位取得後退学
・「利益平準化のメカニズム」により博士(商学)関西大学の学位取得
・公認会計士
・主な著書として、「利益平準化のメカニズム」(中央経済社)、「倒産指数」(日本経済新聞社)、発表論文として、「新会計基準による連結予測利益の精度への影響」、「ITによる会計への影響—会計情報システムと法制度の考察—」ほか多数

中村 繁隆 教授

Nakamura Shigetaka



担当科目
上級財務会計論、租税法会計論、ソリューション・イン・アカデミック、ソリューション・イン・プロフェッショナル、租税法理論、論文指導・修士論文(基礎)、法人税法、論文指導・修士論文(実践)、修士論文

プロフィール
・関西大学大学院法学研究科法学・政治学専攻博士課程後期課程修了
・「クロス・ボーダー組織再編成と課税」により、博士(法学)関西大学の学位取得
・「課税繰延べ防止策の研究—FIF (Foreign Investment Fund) ルールを主題として—」により、第28回日税研究賞(研究者の部)を受賞
・著書として、「教材国際租税法 新版」(慈学社出版)、「地域に関する法的研究」(新日本法規出版)(いずれも分担執筆)、発表論文として、「国際的組織再編成の展開」、「外国法人からの資本の払戻しと課税—欧州会社に拡張されたドイツ法人税法27条8項を参考にして—」ほか多数

松本 祥尚 教授

Matsumoto Yoshinao



担当科目
監査制度論、監査実施論、監査報告論、基本監査プログラム演習、ソリューション・イン・アカデミック、ソリューション・イン・プロフェッショナル、ソリューション・イン・エキスパート、保証業務論、論文指導・修士論文(実践)、修士論文

プロフィール
・神戸大学大学院経営学研究科博士課程前期課程修了
・金融庁企業会計審議会臨時委員、日本監査研究学会理事、元日本会計研究学会幹事、元会計大学院評価機構評価員、元公認会計士試験委員(監査論)、Academy of Accounting Historians理事
・主な著書として、「ベーシック監査論」(同文舘出版)(共著)、「2010年版 上場企業 監査人・監査報酬白書」(日本公認会計士協会出版局)(共著)、発表論文として、「Bright-Lines Accountingと職業会計士の役割—他人保証と自己保証—」、「内部統制監査の財務諸表監査への統合化」ほか多数

三島 徹也 教授

Mishima Tetsuya



担当科目
企業法、商法、会社法、上級会社法、ソリューション・イン・アカデミック、ソリューション・イン・プロフェッショナル、ソリューション・イン・エキスパート、論文指導・修士論文(基礎)、論文指導・修士論文(実践)、修士論文

プロフィール
・関西大学大学院法学研究科私法専攻博士課程後期課程単位取得後退学
・主な著書として、「プライマリー会社法(募集株式の発行等、新株予約権、社債)」(法律文化社)、「プライマリー商法総則・商行為法(商業帳簿)」(法律文化社)(いずれも共著)、発表論文として、「フランチャイザーの第三者に対する責任(一)(二完)」、「資本制度および剰余金の配当規制に関する一考察—ドイツ法における最低資本金および出資の払戻し規制を参考として—」ほか多数

宗岡 徹 教授

Muneoka Toru



担当科目
インベストメント論、コーポレート・ファイナンス論、ソリューション・イン・エキスパート

プロフィール
・東京大学卒業、神戸商科大学大学院博士前期課程修了
・日本興業銀行で審査部、人事部、みずほ総合研究所主席研究員等。転職したソニーで年金企画部担当部長兼子会社執行役員。その後、関西大学大学院会計研究科教授(現)。(独)医薬品医療機器総合機構監事、東京大学客員教授(現)、上場企業の非常勤取締役(現)、非常勤監査役(現)等
・財務省「財政制度等審議会」委員、内閣府「経済財政諮問会議」委員、事業仕分け人。日本証券アナリスト協会試験委員会委員(現)、日本公認会計士協会委員会委員等
・公認会計士、日本証券アナリスト協会検定委員、システム監査技術者等

特別任用教員

吉良 勝明 教授

Kira Katsuaki



担当科目
会社経理実務、企業分析論、不正摘発監査論、特殊講義(コンサルティング実務)

プロフィール
・神戸大学経済学部卒業
・公認会計士試験合格後、大手監査法人に入所。製造業、小売業を中心に法定監査に従事した後、コンサルティング部門に異動。内部監査やIT監査のサポート、内部統制、リスクマネジメント、コンプライアンス態勢の整備・運用支援に携わる。その後、独立開業し中小企業、個人事業主の会計、税務、労務支援に従事すると共に、コンサルティング会社でグローバル企業を中心にGRC関連のサービスを提供している。
・公認会計士、税理士、社会保険労務士、宅地建物取引主任者、CIA(公認内部監査人)

田中 久美子 教授

Tanaka Kumiko



担当科目
監査基準、会計事例研究、監査事例研究

プロフィール
・同志社大学大学院在学中、「継続は力なり」と自分に言い聞かせ、公認会計士試験2次試験合格に向けて鋭意努力、3回目のトライで合格。就職難を乗り越えて、KPMGセンチュリー監査法人大阪事務所に入所。監査法人入所以来、日本国内の商社、製造業、学校法人等の監査に従事。その後2003年に中国広東省広州市に所在するKPMG広州事務所を駐在し、単身赴任を経験。日系企業の現地法人等の監査はもちろんのこと、日系企業の中国進出支援、M&A関連、税務サポートに關して、主に現地でのコミュニケーションをサポート。2006年に帰国後KPMGあざさ監査法人で監査業務のみならず、M&A関連アドバイザリー業務に従事。2008年パートナー登用、2010年京都大学大学院でMBA取得。

玉置 栄一 教授

Tamaki Eiichi



担当科目
会計専門職業倫理、資本市場論、ディスクロージャー実務、実践会計プログラム演習

プロフィール
・関西大学経済学部卒業
・1979年公認会計士2次試験合格、監査法人中央会計事務所入所
・1983年公認会計士登録、1993年税理士登録
・1994年玉置公認会計士事務所開設
・ナニワ監査法人(現 ひびき監査法人)・ユニバーサル監査法人代表社員、日本公認会計士協会近畿会幹事、近畿公認会計士協同組合専務理事等を歴任

植田 有祐 准教授

Ueda Yusuke



担当科目
上級原価計算論、中級工業簿記

プロフィール
・同志社大学経済学部卒業
・公認会計士、税理士
・新日本監査法人にて、主に金融商品取引法監査、会社法監査、アニュアルレポート作成業務に従事
・その後、植田有祐公認会計士事務所を設立し、原価計算導入コンサルティング業務(原価要素の集計、標準の設定、現金収支予算、労務規定の整備など)や、決算早期化コンサルティング業務(棚卸規定の整備、引当金見積の精緻化)を行う

教員スタッフ

兼任教員

吉田 友之 Yoshida Tomoyuki
 ●現職 関西大学商学部 教授
 ●担当科目 国際コミュニケーション論

馬場 一 Baba Hajime
 ●現職 関西大学商学部 准教授
 ●担当科目 国際経営論

兼任教員

赤宗 謙太 Akamune,Kenta
 ●現職 有限責任監査法人トーマツ/公認会計士
 ●担当科目 公会計・公監査事例研究

浅野 信博 Asano,Nobuhiko
 ●現職 大阪市立大学大学院経営学研究科 准教授
 ●担当科目 BATIC演習、英文会計論

荒井 巖 Arai,Iwao
 ●現職 太陽監査法人/公認会計士
 ●担当科目 起業・株式公開事例研究

飯田 俊治 Iida,Toshiharu
 ●現職 新日本有限責任監査法人/公認会計士
 ●担当科目 国際監査事例研究

池上 しのぶ Ikegami,Shinobu
 ●現職 公認会計士
 ●担当科目 特殊講義(企業情報の読み方と使い方)

石原 美保 Ishihara,Miho
 ●現職 石原公認会計士・税理士事務所/公認会計士
 ●担当科目 特殊講義(企業情報の読み方と使い方)

今井 俊雅 Imai,Toshimasa
 ●現職 Wolters Kluwer
 ●担当科目 実践監査プログラム演習

牛島 慶太 Ushijima,Keita
 ●現職 牛島慶太税理士事務所/税理士
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

内田 聡 Uchida,Satoshi
 ●現職 新日本有限責任監査法人/公認会計士
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

海崎 真信 Umizaki,Masanobu
 ●現職 海崎公認会計士事務所 所長/公認会計士/税理士
 ●担当科目 企業再生事例研究

大浦 啓輔 Oura,Keisuke
 ●現職 立命館大学経営学部 准教授
 ●担当科目 マネジメント・コントロール・システム論、国際管理会計事例研究

大西 隆司 Onishi,Takashi
 ●現職 なにわ法律事務所/弁護士
 ●担当科目 特殊講義(ビジネス法務と会計)

影山 泰久 Kageyama,Yasuhsa
 ●現職 新日本有限責任監査法人/公認会計士
 ●担当科目 税務会計事例研究

亀田 健二 Kameda,Kenji
 ●現職 関西大学 名誉教授
 ●担当科目 行政法

上林 憲雄 Kanbayashi,Norio
 ●現職 神戸大学大学院経営学研究科 教授
 ●担当科目 経営学理論

岸本 達司 Kishimoto,Tatsuji
 ●現職 新世総合法律事務所/弁護士
 ●担当科目 金融商品取引法、企業法判例演習

金 志煥 Kin,Shikan
 ●現職 公認会計士
 ●担当科目 公会計・公監査事例研究

小島 勝治 Kojima,Katsuji
 ●現職 株式会社インターリスク総研 マネージャー
 ●担当科目 リスク分析論

酒井 浩行 Sakai,Hiroyuki
 ●現職 CCH Japan Limited
 ●担当科目 実践監査プログラム演習

坂口 順也 Sakaguchi,Junya
 ●現職 名古屋大学大学院経済学研究科 教授
 ●担当科目 戦略管理会計論、コストマネジメント論

辻井 芳樹 Tsujii,Yoshiki
 ●現職 有限責任監査法人トーマツ/公認会計士
 ●担当科目 公会計・公監査事例研究

筒井 万理子 Tsutsui,Mariko
 ●現職 近畿大学経営学部 准教授
 ●担当科目 経営戦略論、経営組織論

中丁 卓也 Nakacho,Takuya
 ●現職 アクア・アンド・カンパニー株式会社/公認会計士
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

中溝 晃介 Nakamizo,Kosuke
 ●現職 松山大学経営学部 准教授
 ●担当科目 XBRL論

沼田 博子 Numata,Hiroko
 ●現職 一般社団法人SRストレスチェック支援センター
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

野田 敏男 Noda,Toshio
 ●現職 野田会計事務所/公認会計士/税理士
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

長谷川 卓也 Hasegawa,Takuya
 ●現職 有限責任監査法人/公認会計士
 ●担当科目 IFRS実務

林 紀美代 Hayashi,Kimiyo
 ●現職 有限責任監査法人/シニアマネージャー
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

林 隆敏 Hayashi,Takatoshi
 ●現職 関西学院大学商学部 教授
 ●担当科目 国際監査制度論

東良 徳一 Higashira,Tokuichi
 ●現職 大阪産業大学経営学部 教授
 ●担当科目 国際税務戦略論、国際税務会計事例研究

古橋 孝志 Furuhashi,Takashi
 ●現職 株式会社シブマテリアルズ 代表取締役
 ●担当科目 実践コミュニケーション

古屋敷 博文 Furuyashiki,Hirofumi
 ●現職 古屋敷税理士事務所/税理士
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

堀竹 学 Horitake,Manabu
 ●現職 大阪経済大学経営学部 准教授
 ●担当科目 民法(総則・物権)、民法(債権)

榊井 康弘 Masui,Yasuhiro
 ●現職 公認会計士
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

松浦 総一 Matsuura,Soichi
 ●現職 立命館大学経営学部 准教授
 ●担当科目 上級税務戦略論

松尾 貴巳 Matsuo,Takami
 ●現職 神戸大学大学院経営学研究科 教授
 ●担当科目 管理会計事例研究

松尾 隼正 Matsuo,Nobumasa
 ●現職 関西大学 名誉教授
 ●担当科目 国際会計制度論

三浦 徹志 Miura,Tetsushi
 ●現職 大阪経済大学経営学部 教授
 ●担当科目 企業価値マネジメント論

水野 淳 Mizuno,Jun
 ●現職 LiquidClaimsJapan株式会社 代表取締役
 ●担当科目 特殊講義(証券アナリスト協会寄附講座・証券アナリストの基礎)

三原 秀章 Mihara,Hideaki
 ●現職 三原公認会計士事務所/公認会計士
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

宮本 勝浩 Miyamoto,Katsuhiko
 ●現職 関西大学 名誉教授
 ●担当科目 会計専門職業数学、マクロ経済学、ミクロ経済学、公共経済学

宮森 直樹 Miyamori,Naoki
 ●現職 大塚メディカルデバイス株式会社 監査役
 ●担当科目 中小企業金融論

村井 勝則 Murai,Katsunori
 ●現職 堂島パーク法律事務所/弁護士
 ●担当科目 特殊講義(ビジネス法務と会計)

村上 晴彦 Murakami,Haruhiko
 ●現職 税理士
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

村上 雅俊 Murakami,Masatoshi
 ●現職 阪南大学経済学部 准教授
 ●担当科目 統計学

守屋 光博 Moriya,Mitsuhiro
 ●現職 守屋公認会計士事務所所長/公認会計士
 ●担当科目 内部監査論

八木 裕之 Yagi,Hiroyuki
 ●現職 HRM総研/ハ社会保険労務士事務所
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

八木田 光一 Yagita,Koichi
 ●現職 有限責任監査法人トーマツ/公認会計士
 ●担当科目 公会計・公監査事例研究

安原 徹 Yasuhara,Toru
 ●現職 ひびき監査法人/公認会計士/税理士
 ●担当科目 特殊講義(ビジネス法務と会計)

山本 耕三 Yamamoto,Kozo
 ●現職 有限責任監査法人トーマツ/公認会計士
 ●担当科目 国際会計事例研究

教育顧問・客員教授

教育顧問 **伊藤 進一郎 氏** プロティビティLLC相談役
客員教授 Ito Shinichiro 元 住友電気工業株式会社 代表取締役副社長

一橋大学商学部卒業、金融庁企業会計審議会委員、金融審議会臨時委員、経済産業省企業財務委員長、企業会計基準委員会委員、公認会計士協会品質管理審議委員、経団連国際会計部会長、関西経済同友会常任幹事・経済委員長、関西経済連合会常任理事・税制部会長、監査役協会 有識者懇談会座長代理を歴任。現在、CFO協会相談役、日本企業を考える会(伊藤邦雄)代表幹事

教育顧問 **林 紀美代 氏** 公認会計士、税理士
 Hayashi Kimiyo

・関西大学商学部商学科卒業
 ・1982年 朝日会社(現 有限責任あずさ監査法人)入所
 ・1986年 公認会計士 登録
 ・2009年 林紀美代公認会計士事務所開業
 ・イワタニイコレクト(株)監査役(非常勤)、ナノフロン(株)監査役(非常勤)、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団監事、日本公認会計士協会近畿会幹事・会報部部長・経理部部長、大阪府公益認定等委員会委員(2015年8月まで)等歴任

客員教授 **宮内 和洋 氏** 会計検査院
 Miyuchi Kazuhiro 事務総長官房総括審議官

・京大法学部卒業。米国インディアナ大学法学修士
 ・1985年 会計検査院入庁
 ・1996年 外務省へ出向(在ルクセンブルク日本国大使館一等書記官、~1999年)
 ・2009年 第3国土交通通検査第5課長
 ・2011年 第5局上席調査官(融資機関担当)
 ・2013年 事務総長官房法規課長
 ・2014年 事務総長官房人事課長
 ・2016年 事務総長官房審議官(第4局担当)
 ・2017年 事務総長官房総括審議官

客員教授 **竹中 平蔵 氏** 慶應義塾大学名誉教授
 Takenaka Heizo 東洋大学教授

1951年、和歌山県生まれ。博士(経済学)。一橋大学経済学部卒業後、73年日本開発銀行入行。81年に退職後、ハーバード大学客員准教授、慶應義塾大学総合政策学部教授などを務める。01年、小泉内閣の経済財政政策担当大臣就任を皮切りに金融担当大臣、郵政民営化担当大臣、総務大臣等を歴任。04年~06年参議院議員。現在、現職のほか公益社団法人日本経済研究センター研究顧問、アカデミーヒルズ理事長、株式会社/パソナグループ取締役会長、オリックス株式会社社外取締役、SBIホールディングス株式会社社外取締役等を兼職。

客員教授 **脇田 良一 氏** 博士(商学・早稲田大学)、明治学院大学名誉教授
 Wakita Yoshikazu 名古屋経済大学大学院教授
 金融庁/企業会計審議会委員、監査部会長

・1963年 早稲田大学商学部卒業
 ・1980年 明治学院大学教授
 ・2000年 明治学院大学学長
 ・2004年 金融庁/公認会計士・監査審査会常務委員
 ・2010年 早稲田大学商学学術院教授
 他に、大蔵省/企業会計審議会委員・第二部会長、同/公認会計士試験委員、金融庁/企業会計審議会委員・監査部会長、同/金融審議会委員、金融庁/会計監査の在り方に関する懇談会・座長、日本公認会計士協会/監査問題協議会委員を務めた。

客員教授 **島崎 憲明 氏** IFRS財団アジアオセアニアオフィスアドバイザー、日本公認会計士協会顧問
 Shimazaki Noriaki 住友商事株式会社 元副社長(本会計専門職大学院客員教授)からのメッセージ

日本の企業は会計人材を新卒から自前で育成してきましたが、近年、変化が見られます。企業内での養成に加え、公認会計士資格保有者や高度な会計スキルを持つ人材のキャリア採用、企業からの会計専門職大学院派遣等が増加しています。これは企業活動の国際的拡がりによって、高度な会計知識と経験を必要とする複雑な事業の増加が背景にあります。企業が会計人材に求めるのは、財務諸表作成等日々の経理実務を行うための会計・税務知識から、経営上の課題を財務諸表から読み解き、経営資源の最適配分により企業の持続的成長を促す高度な会計力まで、その幅は広いです。会計専門職大学院で学ぶ皆さんが一人でも多く、企業の最前線で活躍することを願っています。

・1969年住友商事(株)入社、1984年~1992年ニューヨーク駐在、1998年取締役就任、2005年~2009年代表取締役副社長執行役員。2009年~2013年IFRS財団トラスティ
 ・これまでに日本経団連で資本市場部会長、企業会計部会長を、金融庁で企業会計審議会委員、金融審議会部会長代理を歴任。現在は金融庁政策評価有識者会議委員、学校法人東京経済大学学外有識者理事、野村ホールディングス(株)、(株)オートバックスセブン等の社外取締役や企業の経営顧問等を務める

入試概要

2018年度 入学試験日程

日 程	7月募集	10月募集*2	1月募集*2	3月募集*2
区分*1(方式)	一般[学力・素養] 学内進学 公募制推薦 資格取得者・社会人 外国人留学生	一般[学力・素養] 学内進学 早期卒業者 公募制推薦 資格取得者・社会人 外国人留学生	一般[学力・素養] 学内進学 早期卒業者 公募制推薦 資格取得者・社会人 外国人留学生	一般[学力・素養] 学内進学 早期卒業者 公募制推薦 資格取得者・社会人
試験地*3	大 阪	大 阪	大 阪・東 京	大 阪
Webエントリー期間	6月19日(月)	10月5日(木)	12月20日(水)	2018年 2月15日(木)
入学検定料納入期間	6月26日(月)	10月12日(木)	2018年 1月10日(水)	2018年 2月22日(木)
出願書類提出期間	消印有効	消印有効	消印有効	消印有効
試験日	7月9日(日)	10月22日(日)	2018年 1月21日(日)	2018年 3月10日(土)
合格者発表日	7月14日(金)	10月27日(金)	2018年 1月26日(金)	2018年 3月12日(月)

※1 募集人員の内訳は、一般25名、学内進学10名、その他若干名とします。日程ごとの募集人員は設定していません。
 ※2 10月募集・1月募集・3月募集については、飛び級を含みます。
 ※3 学内進学試験、指定校推薦は、すべての日程において大阪試験地のみ実施します。
 ※4 その他入試として、指定校推薦、留学生別科特別、社会保険労務士連合会特別推薦を実施しています。詳細については、それぞれの対象者へお知らせします。

2018年度 入学試験科目

区 分	方 式	試 験 科 目
一 般 入 学 試 験	学力重視方式	筆記試験(【簿記、原価計算、会計学】の3科目から2科目を選択)
	素養重視方式	小論文(社会・経済に関するテーマ)および面接
学 内 進 学 試 験		書類選考および面接
早 期 卒 業 者 特 別 入 学 試 験		書類選考および面接
公 募 制 推 薦 入 学 試 験		書類選考および面接
資 格 取 得 者 ・ 社 会 人 入 学 試 験		書類選考および面接
外 国 人 留 学 生 入 学 試 験		小論文(社会・経済に関するテーマ)および面接

入学試験結果

	2015年度			2016年度			2017年度		
	志 願	合 格	入 学	志 願	合 格	入 学	志 願	合 格	入 学
一般入試	32	21	16	52	47	29	38	32	22
学内進学試験	9	9	7	20	20	16	18	15	14
指定校推薦入試	2	2	2	3	3	3	1	0	0
外国人留学生入試	8	7	7	6	6	1	10	8	5
社会人入試	3	3	3	0	0	0	0	0	0
その他入試	1	1	1	2	2	2	5	5	4
合 計	55	43	36	83	78	51	72	60	45

2017年度 進学説明会等

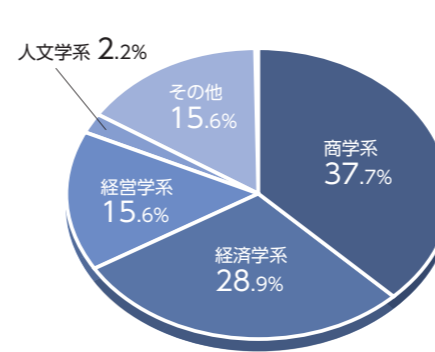
[大阪:関西大学千里山キャンパス 東京:関西大学東京センター]

実施日程	会 場	内 容	時 間
6月3日(土)*	大 阪・東 京	研究科概要・入試概要説明・模擬講義・修士生座談会・施設見学・個別相談	13:00~14:55
6月24日(土)	大 阪	関西大学大学院合同進学説明会(個別相談・概要説明)	13:00~15:00
9月30日(土)*	大 阪・東 京	研究科概要・入試概要説明・大学院入試対策講座(専門科目)・施設見学・個別相談	13:00~15:00
11月25日(土)	大 阪	関西大学大学院合同進学説明会(個別相談・概要説明)	13:00~15:00
12月16日(土)*	大 阪・東 京	研究科概要・入試概要説明・在学生との懇談会・施設見学・個別相談	13:00~15:00
2018年 2月10日(土)*	大 阪・東 京	研究科概要・入試概要説明・個別相談	16:30~17:30

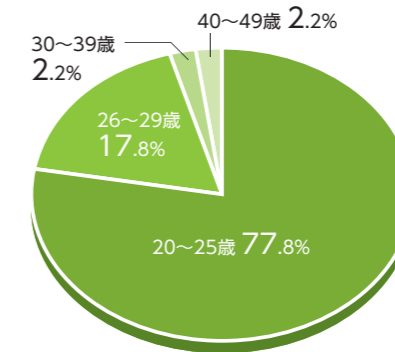
※ 関西大学千里山キャンパスと関西大学東京センターを同時中継し、同内容を双方向で放映します。
 ○ 進学説明会等の日程については、やむを得ず変更することがあります。最新の情報は、ご来場前に関西大学会計専門職大学院ウェブサイトでご確認ください。

入学者データ(2017年度)

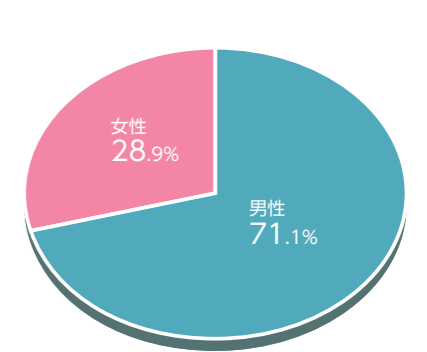
●出身学部別



●年齢別



●男女比



長期履修学生制度

入学者の多様な学習ニーズに対応するため、2014年度から長期履修学生制度(3年コース・4年コース)を導入しています。
 この制度は、在学中に職業を有すること、またはその他の理由により、標準修業年限(2年)を超えて、3年または4年在学することを希望する人に対して適用します。いずれの場合も、最長在学年限は4年間となります。

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		履修制限単位	履修科目	履修制限単位	履修科目	履修制限単位	履修科目	履修制限単位	履修科目
3年コース	履修制限単位	22単位	22単位	20単位					
	履修科目	2年コースの1年次配当科目		2年コースの2年次配当科目					
4年コース	履修制限単位	16単位	16単位	16単位	16単位				
	履修科目	2年コースの1年次配当科目				2年コースの2年次配当科目			

学費・諸費 / 奨学制度

学費・諸費(2年コース)

2018年度入学者の学費は次のとおりです。長期履修学生制度(3年コース・4年コース)の学費については、学生募集要項でご確認ください。

種別	区分	入学初年度		次年度以降(年間)
		入学初学期	秋学期	
学費	入学金	260,000円		
	授業料	660,000円	660,000円	1,350,000円
諸費	校友会基本会費	10,000円		20,000円
合計		930,000円	660,000円	1,370,000円

注1) 関西大学を卒業した者、関西大学大学院を修了した者または本学学部生であって大学院会計研究科第26条第11号に規定する者(飛び級入試合格者)が、会計研究科(専門職大学院)へ進学する場合は、入学金(入学登録金)を半額とします。

注2) 関西大学留学生別科を修了した者または在学が修了を待たずに引き続き学部または大学院へ進学する場合は、入学金(入学登録金)を半額とします。

注3) 諸費の校友会基本会費は入学時に10,000円、次年度に20,000円の計30,000円を委託により徴収いたします。なお、本学(大学院含む)出身者で、すでに納入済の方からは徴収しません。

奨学制度

関西大学では以下の奨学制度を設けています。これらに関するご質問は、関西大学学生センター奨学支援グループへお問い合わせください。その他、奨学制度についてのお知らせは決定次第、奨学支援グループウェブサイト(<http://www.kansai-u.ac.jp/scholarship/>)にてお知らせします。外国人留学生(在留資格が「留学」の方)については、関西大学国際部へお問い合わせください。

① 関西大学大学院会計研究科(会計専門職大学院) 給付奨学金(2018年度予定)

対象者	給付金額・期間	初年度実質負担額
高度な資格取得者(学部卒業見込者、大学院修了見込者および関西大学留学生別科修了見込者)		
ア 公認会計士試験(論文集) 1科目以上合格者	年間132万円 (授業料の全額相当額) 2年間※1	▶▶ 27万円 (入学金26万円+ 校友会基本会費1万円)
イ 公認会計士試験(短答式)合格者	年間132万円 (授業料の全額相当額) 1年間※2 ※3	▶▶ 27万円 (入学金26万円+ 校友会基本会費1万円)
ウ 税理士試験1科目以上合格者	年間66万円 (授業料の半額相当額) 1年間※2 ※3	▶▶ 93万円 (入学金26万円+ 授業料66万円+ 校友会基本会費1万円)
エ 日本商工会議所簿記検定1級合格者	年間66万円 (授業料の半額相当額) 1年間※2 ※3	▶▶ 93万円 (入学金26万円+ 授業料66万円+ 校友会基本会費1万円)

入試成績優秀者	年間132万円 (授業料の全額相当額) 2年間※1	▶▶ 27万円 (入学金26万円+ 校友会基本会費1万円)
	または 年間132万円 (授業料の全額相当額) 1年間※3	▶▶ 27万円 (入学金26万円+ 校友会基本会費1万円)
	または 年間66万円 (授業料の半額相当額) 1年間※3	▶▶ 93万円 (入学金26万円+ 授業料66万円+ 校友会基本会費1万円)

※1 奨学生が受給資格を欠くと認められる場合は、給付期間を短縮することがあります。

※2 高度な資格取得者を対象とする給付奨学金(1年間全額または半額給付)に該当する者が、優秀な入試成績を修めた場合、入試成績優秀者を対象とする給付奨学制度により、1年間全額給付対象者を2年間全額給付対象者として、また1年間半額給付対象者を1年間全額給付対象者として採用する場合があります。ただし、両奨学制度の併給は認められません。

※3 1年次の学業成績により、2年次も採用となることがあります。

② 日本学生支援機構奨学金(2017年度現行)

第一種奨学金(無利子)	貸与月額 50,000円、88,000円から選択
第二種奨学金(有利子)	貸与月額 50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択

※その他、民間団体の給付奨学金制度や日本政策金融公庫の「国の教育ローン」、株式会社オリエントコーポレーションとの提携による「学費サポートプラン」等の制度もあります。詳細につきましては、学生センター奨学支援グループまでお問い合わせください。

施設紹介

第2学舎 2号館 講義室・演習室

本会計専門職大学院の講義・演習等は、第2学舎2号館を中心に行われます。

7階に自習室、1階にはコンビニ、食堂もあり、非常に快適な学習環境を提供しています。



パソコン教室では「Team Mate®」「会計監査プログラム」等のソフトウェアを使った授業が行われます。

総合図書館

総合図書館は、地上3階・地下2階からなり、21,750㎡の総面積を持つ、大学図書館としてはトップクラスの設備と規模を誇る施設です。高槻キャンパス図書館、ミューズ大学図書館、堺キャンパス図書館を含め、蔵書数は220万冊以上あります。

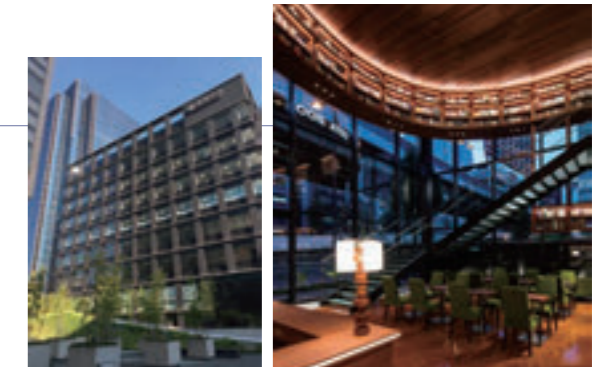
第2学舎1号館(教務センター)

教務センター(会計研究科担当)があり、履修や修学・学生生活に関する相談・質問に対応します。

梅田キャンパスでの授業開講

新設された関西大学梅田キャンパスで、会計専門職大学院の授業の一部を夜間の時間帯で開講します。自分のライフスタイルに合わせた科目履修が可能になります。また、梅田キャンパスで開講される会計専門職講座は、広く社会人にも開放しています。

※2017年度は春・秋学期それぞれ3科目開講

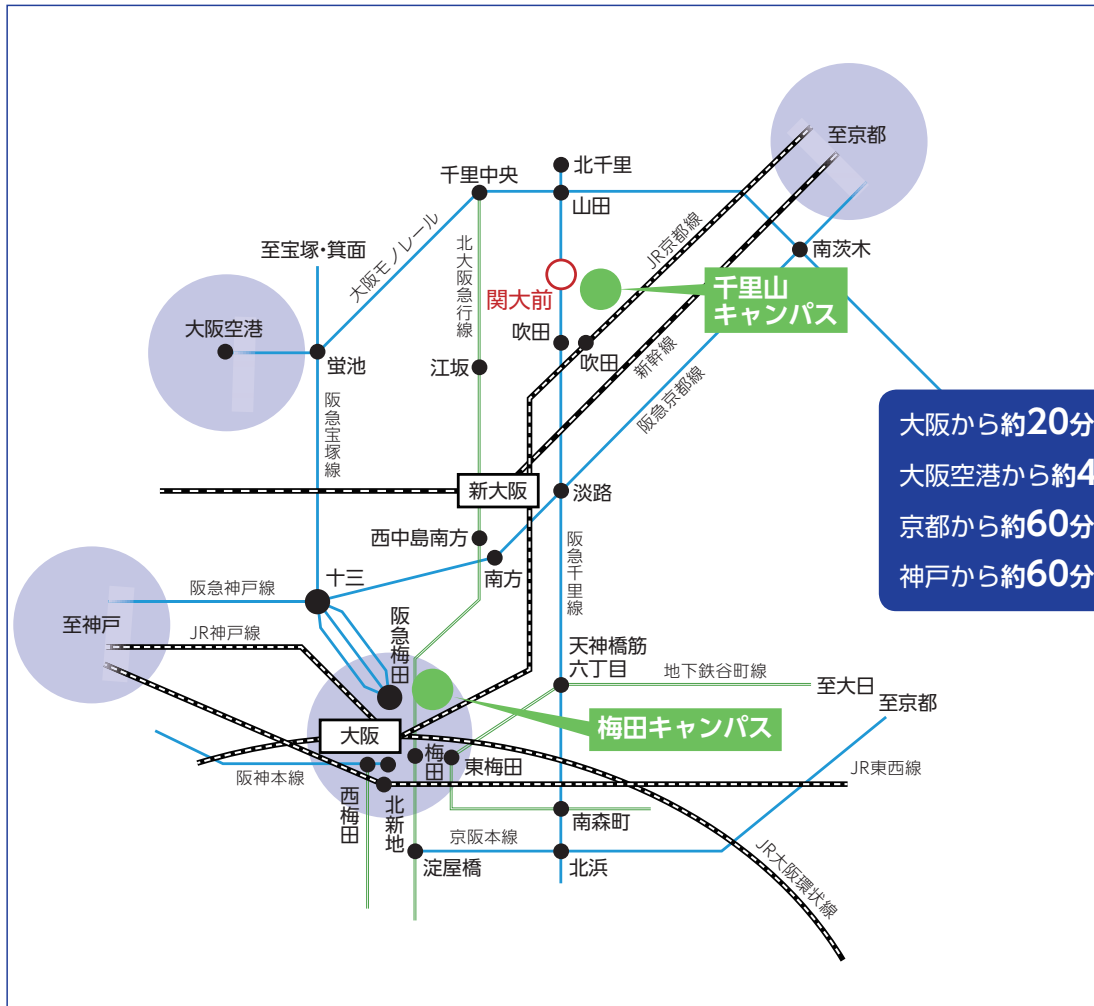


キャンパスマップ



- ① 第2学舎2号館
- ② 第2学舎1号館(教務センター)
- ③ 総合図書館

阪急電鉄
「関大前」駅



名称 (英訳名)	関西大学大学院 会計研究科 会計士養成専攻(専門職学位課程) (Graduate School of Kansai University, School of Accountancy Major of Accountancy)	入学定員	40名(収容定員80名)
通称	関西大学会計専門職大学院 関西大学アカウンティングスクール	教員スタッフ	専任教員13名 (うち、研究者教員7名、実務家教員6名) 兼任教員 2名 兼任教員 50名
設置形態	専門職大学院	授業形態	昼間開講(一部科目を夜間に開講)
学位名称 (英訳名)	会計修士(専門職) (Master of Business Administration in Accountancy)	修業年限	2年(長期履修学生制度あり)
		修了所要単位	48単位
		履修制限単位	32単位(1年間)

※ 2017年4月現在



関西大学 会計専門職大学院 [アカウンティングスクール]

お問い合わせ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
 関西大学 入試センター 大学院入試グループ
 TEL:06-6368-1121(大代表) E-mail: grd-adm@ml.kandai.jp

最新の情報はウェブサイトをご覧ください。

<http://www.kansai-u.ac.jp/as/>

